

# みなさまの保険情報

INSURANCE INFORMATION

## TOPIC

### 自動車盗難の現状

## カーナビ盗難が増加傾向に

#### 自動車盗難急増の背景

1990年代後半までは3万件台で推移していた自動車の盗難被害は、1999年からは急増に転じ、2003年のピーク時には6万4千件台にまで達しました。

自動車盗難が急増した背景には、経済のグローバル化の進展によって、不良外国人がかかわる組織的な窃盗団による犯罪が増加したことなどが理由として挙げられています。

#### 最近の被害傾向

警察庁の調査では自動車盗難は2003年以降、年々減少していますが、一方で車上ねらいによる被害が増えています。特に最近の傾向としては、カーナビの盗難が増えています。09年11月対象の日本損害保険協会の調査ではカーナビ盗難件数は1,599件と過去最高。カーナビのほとんどは転売目的に盗まれており、近年、盗品の処分先としてインターネット・オークションの利用が増加しています。

インターネット・オークションで盗品カーナビが出品されている現状を踏まえ、一部のインターネット・オークション事業者は出品物と現物との同一性が担保された状態に近づけるよう、カーナビの製造番号の記載、製造番号部分に係る画像の掲載などの対策を講じています。



全国各地で行われている盗難防止キャンペーンの様子

#### 官民合同プロジェクトチームの設立

急増する自動車盗難を問題視して2001年9月には、警察庁、財務省など4省庁と損保協会、日本自動車工業会など民間9団体による「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム」(現在は4省庁・17民間団体・2オブザーバーで構成)が発足し、イモビライザー(専用キーに内蔵された送信機の電子IDコードと車両本体内の電子制御装置に登録されたIDコードとが一致しないとエンジンが始動しないという盗難防止装置のこと)の普及拡大や盗難車の不正流通対策などに取り組んできました。

#### ユーザーが徹底すべき対策方法

自動車盗難ではキーをかけておいた状態で車が盗まれる、いわゆる「キーあり盗難」が全体の3割程度を占めています。まずは、自動車から離れる際には、必ずキーを抜くことが大切です。

新車を購入される際には、イモビライザー搭載車の購入を検討してください。また、侵入防止センサーやハンドルロックを活用することで、さらに防犯効果が高まります。とくに盗難の多い駐車場の防犯対策は重要です。

#### 所有者責任について

最後になりますが、自動車を盗んだ窃盗犯が起こした人身事故であっても、場合によっては、盗難の被害者である所有者が自動車の管理責任を問われ、自賠法上の賠償責任を負うことがあります。そのため、自動車を盗まれないように適切に管理することは、自動車所有者の義務ともいえるでしょう。

自動車盗難認知件数の推移

